

実践力の育成のために(普遍的な視点からの取組)

【特別活動(学校行事)】 人権講演会

人権課題「障害者」に関わる取組(普遍的な視点からの取組)

主題「仲間に”頼る”ことで見えた、新しい世界」

講師:信沢 用秀 様 (フコクしんらい生命保険株式会社)

ゴールボール選手として活躍する中、私生活で抱える困難さや競技経験を経て、得た知見としての物事を悲観的にとらえず「見方を変える」ことの大切さを知ることができた。また実際に競技の体験を通して、周りの支えや自身に向き合う態度を感じることができた。



生徒の変容

・ゴールボールの体験や講話を通して、障害者の人権について考えることができた。周りの支えはもちろん自分自身の客観的な理解のもと、できることを考え、組織の一員として努力する大切さにも気付けた。また選手との交流により、共生社会の大切さを肌で感じる事ができた。

【各教科・領域】 キャリア教育「マナー講習会」

第2学年の実践例

講師:特定非営利活動法人 マナー教育サポート協会の方々

マナーは「思いやり」というように相手のことを考えた行動様式であることを教わった。「表情・みだしなみ・姿勢」の3点から将来、社会人として他者と接するため、共に働くためにマナーを身に付ける必要性を考えた。ペアワークやロールプレイなどを通し、マナーについての理解を深め、他者に関わる中で相手の価値を尊重する態度を養う機会になった。



生徒の変容

・人間関係をより良いものにするために、自分自身の行動が大きな影響を与えることを理解し、普段の生活にも生かそうとする姿勢をもつことができた。

教職員の研修(課題理解・指導改善)

1 校外での研修

年に1回、校外でのフィールドワークを行い、人権課題について学ぶ機会を設定している。今年度は人権プラザにて、東京都が抱える人権課題及び同和問題の説明を受け、施設の見学を行った。この研修で得た内容を、教育活動に生かしていく。



2 校内での研修

生徒理解、特別支援教育、教育相談などをテーマに校内での情報交換や協議、外部講師を招いての研修会を年に数回行っている。また元早稲田大学教育総合科学学術院客員教授 戸室明先生の指導の下、Hyper-QUを活用したより良い集団作りを行っている。

研究に関わった教職員

(◎研究委員長 ○研究委員)

<令和5年度>

校長 岡本 芳明 副校長 小林 美帆 / 事務 藤島 裕子・坂入 美幸 栄養士 長谷川満実

第1学年	長澤 研	○石川 直美	○宮本 貴史	大田 肇	○角田 知子	高井 一輝
第2学年	○青柳 公健	尾賀 弘美	◎倉田 一徳	五十嵐 智	三木 浩敬	○佐藤 恵子
第3学年	○登坂 優一	佐藤 幸夏	高松 脩生	尾崎 隼人	○千澤 泰知	
特別支援学級	○綾部 陽介	○大國 まや	根本 卓亮	八木橋 夕貴	田中 啓太	秋山 将輝
	大場美智子	小山 昌宏				